

熊谷 明泰教授 略歴および主要研究業績



恩師 (田中克彦一橋大学名誉教授、写真左) とともに
2018年10月20日撮影

〈略 歴〉

1948年11月22日 末っ子の四男として大阪市に生まれる

学 歴

- 1967年3月 桃山学院高等学校 卒業
- 1968年4月 大阪府立大学経済学部経済学科 入学
- 1975年3月 大阪府立大学経済学部経済学科 卒業
- 1975年4月 大阪外国語大学外国語学部朝鮮語学科入学 (1977年3月中退)
- 1977年4月 大阪外国語大学大学院外国語学研究科修士課程東アジア語学 (朝鮮語学) 専攻
入学
- 1981年3月 大阪外国語大学大学院外国語学研究科修士課程東アジア語学 (朝鮮語学) 専攻
修了
- 1981年4月 一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程 (社会言語学専攻) 入学
- 1983年9月 高麗大学国語国文学科大学院博士課程 (朝鮮語学専攻) 入学 (文部省国費留
学、～1985年8月)
- 1989年3月 一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程 (社会言語学専攻) 単位取得退学
- 1989年3月 ソウル大学大学院国語国文学科 (朝鮮語学専攻) 博士課程 (non-degree course)
入学 (～1990年2月)

職 歴

- 1981年4月 大阪市立大学・愛知大学非常勤講師
1984年3月 大田実業専門大学観光日語科 専任講師
1984年9月 韓国外国語大学日本語科 専任講師
1987年9月 韓国外国語大学日本語科 助教授
1991年9月 韓国外国語大学日本語科 副教授
1993年4月 県立新潟女子短期大学国際教養学科 助教授
1997年4月 県立新潟女子短期大学国際教養学科 教授
1999年4月 関西大学文学部 教授
2000年4月 関西大学外国語教育研究機構 教授
2007年4月 関西大学在外研究員（および延辺大学客員研究員）として、中国にて1年間研究に従事
2009年4月 関西大学外国語学部 教授
2016年4月 関西大学名誉教授
2016年4月 関西大学外国語学部特別任用教授（～2019年3月退職）

上記のほか、大阪外国語大学、新潟大学、新潟国際情報大学、新潟経営大学、帝塚山大学、韓国外国語大学通訳大学院、韓国外国語大学研修院、国際大学（韓国）、高麗大学、韓国外交安保研究院、韓国金融監督院、(株)鮮京新入社員研修などに出講。

受賞・学術賞

- 東崇学術賞 2011年11月25日（韓国・東崇学術財団）

〈主要研究業績〉

編著書

- 1986年2月20日 『朝鮮語大辞典』（上・下巻、補巻）、共編、角川書店、2,755頁＋103頁
2004年3月30日 『朝鮮総督府の「国語」政策資料』、関西大学出版部、667頁＋24頁
2005年3月25日 『パスポート朝鮮語小辞典』、編集責任者、白水社、635頁
2015年3月30日 『朝鮮における戦時「国語常用」政策下の「毎日新報」—「国語」教材および「国語」欄記事の紹介と解題—』、関西大学出版部、812頁＋33頁

学術論文

- 1983年9月1日 「在日朝鮮人の言語生活—南北朝鮮の言語政策との関連において—」『在日朝鮮人史研究』12号、在日朝鮮人運動史研究会、pp.50-72
1987年6月30日 「太平洋戦争期の外国人に対する日本語教育—日本語教育振興会の問題を中

- 心にして一」『韓国外国語大学校論文集』20号、韓国外国語大学出版部、pp.691-709
- 1987年11月25日 「朝鮮語における借用語の研究 - 日本語からの原音借用語に関する調査に基づく考察」『日本文化研究』3号、韓国外国語大学日本文化研究所、pp.113-160
- 1988年9月 「韓国語の中の日本語系借用語に関する研究」『二重言語学会誌』4号、韓国二重言語学会、pp.203-234
- 1990年 「Language Policies in North Korea」International Journal of the Sociology of Language 82号、pp.87-108
- 1990年4月30日 「韓国の言語醇化資料と日本語系借用語」『日本文化研究』3号、韓国外国語大学日本文化研究所、pp.159-215
- 1990年6月30日 「韓国社会で用いられる日本語系借用語 - その意味・用法の辞書的試案」『韓国外国語大学校論文集』23号、韓国外国語大学出版部・pp.295-322
- 1991年6月30日 「朝鮮語に転移使用された日本語語彙 - 解放前朝鮮語出版物の語彙調」『韓国外国語大学校論文集』24号、韓国外国語大学出版部、pp.345-371
- 1991年11月25日 「解放前朝鮮語に対する日本語の言語干渉」『日本文化研究』6号、韓国外国語大学日本文化研究所、pp.215-263
- 1992年6月10日 「日本語語彙の〈-hada〉用言化転移使用に関する考察」『金敏洙教授定年記念論叢 国語学研究百年史』、一潮閣 (ソウル)、pp.755-775
- 1992年6月30日 「「教育の党政策化」と北朝鮮の国語教育」『韓国外国語大学校論文集』25号、韓国外国語大学出版部、pp.471-496
- 1995年3月1日 「中国における朝鮮語語彙規範の変遷」『県立新潟女子短期大学研究紀要』32号、pp.1-14
- 1995年3月31日 「中国朝鮮語における語彙使用状況 - 『中国朝鮮語実態調査報告』の分析紹介」『北東アジア地域の諸問題』。県立新潟女子短期大学北東アジア地域研究会、pp.85-122
- 1995年10月25日 「朝鮮語ナショナリズムと日本語」『ライブラリ相関社会科学4 言語国家、そして権力』、新世社、pp.163-193
- 1996年3月31日 「朝鮮語辞典に反映された日本語系借用語」『県立新潟女子短期大学紀要』33号、pp.71-82
- 1997年3月1日 「延辺朝鮮語に残った日本語系借用語」『県立新潟女子短期大学研究紀要』34号、pp.69-84
- 1999年9月27日 「建国期北朝鮮の言語政策」『環日本海論叢』16号、新潟大学環日本海研究会、pp.27-46
- 2000年3月31日 「朝鮮語教育と学習書の現状について - 母音解説で見られる問題点を中心として」『研究センター報』第26号、関西大学一般教育等研究センター、pp.96-124

- 2000年12月25日 「南北朝鮮における言語規範乖離の起点—頭音法則廃棄政策における金寿卿論文の位置—」『関西大学人権問題研究室紀要』第41号、関西大学人権問題研究室、pp.1～57
- 2001年4月24日 「1940年代末期北朝鮮における形態主義表記—漢字語頭音 n 及び r の表記と発音に関して—」『韓日語文學論叢』（梅田博之教授古稀記念論叢）太學社（ソウル）pp.575-603
- 2002年3月14日 「延辺朝鮮語の語彙規範化原則と「漢語」支配」『外国語研究—言語・文化・教育の諸相』（織田稔教授古稀記念論文集）、ユニウス、pp.93-107
- 2004年1月10日 「植民地下朝鮮における徴兵制度実施計画と「国語全解・国語常用」政策（上）」『関西大学人権問題研究室紀要』48号、関西大学人権問題研究室、pp.77-230
- 2004年8月23日 「植民地下朝鮮における徴兵制度実施計画と「国語全解・国語常用」政策（下）」『関西大学人権問題研究室紀要』49号、関西大学人権問題研究室、pp.1-57
- 2005年9月15日 「日本統治期の台湾・朝鮮における「国語」教育（上）」『関西大学人権問題研究室紀要』51号、共著、関西大学人権問題研究室、pp.1-110
- 2006年3月31日 「日本統治期の台湾・朝鮮における国語教育（下）—「一日一語運動」の構想と展開過程—」『関西大学人権問題研究室紀要』第52号、関西大学人権問題研究室、pp.17～169
- 2006年3月31日 「朝鮮総督府による「国語常用」強制と朝鮮語使用禁止の事例」『研究叢書第34冊アジアのマイノリティと法』、関西大学法学研究所、pp.187-226
- 2006年3月31日 「賞罰表象を用いた朝鮮総督府の「国語常用」運動—「罰札」、「国語常用家庭」、「国語常用章」」『関西大学視聴覚教育』第29号、pp.55-77
- 2007年4月25日 「朝鮮語辞典におけるカタカナ発音表記」『韓国語教育論講座第1巻』、くろしお出版、pp.629-653
- 2011年3月 「同一形態漢字語における中国朝鮮語に対する漢語の意味干渉の事例」『関西大学人権問題研究室紀要』第61号、関西大学人権問題研究室、pp.1-156
- 2012年3月31日 「朝鮮総督府の「国語常用・国語全解」政策に伴うダイグロシアの進展」『韓国文化研究』創刊号、韓国文化学会、pp.1-48
- 2012年9月30日 「中国人民志願軍『常用朝鮮語手冊』とその成立背景」『関大大学人権問題研究室紀要』第64号、関西大学人権問題研究室、pp.1-184
- 2013年3月 「李克魯著『実験図解 朝鮮語音声学』（1949年11月、平壤）に対する若干の考察」『外国語学部紀要』第8号、関西大学外国語学部、pp.43-85
- 2013年3月31日 「韓民主化闘争以後の「韓国語辞典」にみられる特徴について—『延世韓国語辞典』の用例から読み解く韓国社会—」『関西大学人権問題研究室紀要』第65号、関西大学人権問題研究室、pp.1-232

- 2014年3月31日 「朝鮮語の近代化と日本語語彙」『関西大学人権問題研究室紀要』第67号、
関西大学人権問題研究室、pp.1-122
- 2014年12月30日 「朝鮮語新聞「毎日新報」(朝鮮語総督府機関紙)に掲載された「国語」欄
の歴史の変遷(1939年～1944年)」『関西大学人権問題研究室紀要』第68号、関西大学人
権問題研究室、pp.1-216

テキスト

- 1994年4月～9月 『NHKラジオ ハングル講座テキスト』(応用編)、1994年4月号～1994年
9月号、日本放送出版協会
- 2011年1月15日 『初級韓国朝鮮語教材 アリラン』、朝日出版社、175頁
- 2015年1月30日 『初級朝鮮韓国語教材 アリラン 改訂版』、朝日出版社、188頁

研究報告書

- 1997年4月 「朝鮮語に対する日本語の言語干渉に関する日・韓・中比較研究」、文部省科学
研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書
- 2006年4月 「植民地下朝鮮に於ける徴兵制実施計画に伴う「国語常用・国語全解」運動の展
開様相」、文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書

報告・エッセイなど

- 1981年6月22日 「朝鮮語のすすめ(渡辺吉溶・鈴木孝夫共著)」(書評)『日本読書新聞』、日
本出版協会
- 1992年1月1日 「「情の文化」を支える豊かな身体表現」『月刊言語』第21巻第1号、大
蔵館、pp.37-39
- 1994年10月18日 「朝鮮語の傷跡」『特技研』177号、特許庁、pp.72-73
- 2001年1月31日 「北朝鮮紀行」『関西大学人権問題研究室室報』第26号、関西大学人権問題
研究室、pp.2-3
- 2006年4月 「治安維持法下の朝鮮語学会事件」『書評』第125号、関西大学生協同組合『書
評』編集委員会、pp.114-119
- 2008年6月30日 「経済発展の谷間に揺れる朝鮮族」『関西大学人権問題研究室室報』第41
号、関西大学人権問題研究室、pp.2-3
- 2010年7月 「四川省の彝族居住地域を訪ねて」『関西大学人権問題研究室室報』第45号、
関西大学人権問題研究室、pp.2-3
- 2015年9月1日 「台湾人の脱植民地化と「親日」」『関西大学人権問題研究室室報』第55号、
関西大学人権問題研究室、pp.6-8

翻 訳

- 1987年12月 「日本語を学んでいる朝鮮人の日本観」(原著者:金容沃)『国際交流』第45号、国際交流基金、pp.38-44
- 1988年5月 『第二十四回ソウルオリンピック大会公式案内』(日本語版翻訳監修)、第24回ソウルオリンピック大会組織委員会、271頁
- 1988年11月 『女とは何か—韓国知識人からのメッセージ』(原著者:金容沃)、明石書店、416頁
- 1988年10月 「韓国の書芸 その歴史と特徴」(原著者:任昌淳)『墨』第74号、芸術新聞社、pp.46-49
- 1990年6月 「気哲学の構造」(原著者:金容沃)、『思想』792号、岩波書店、pp.284-296
- 1994年1月 『楽しいサラ』(原著者:馬光洙)、全国朝日放送株式会社(テレビ朝日)出版部、401頁
- 1995年10月 「儒教倫理との我が闘争」(原著者:馬光洙)、月刊『論座』第1巻第7号、朝日新聞社、pp.50-55

